

地域に広がる生活支援サービス

# 助け合い組織「ちひろえ」

高齢になっても安心して地域で暮らしていくための取り組みとして、草刈りやゴミ出しなどのちょっとした困りごとを地域住民で助け合う活動が広がっています。

今回は助け合い組織「ちひろえ」の若山会長にお話を伺いました。

助け合い組織「ちひろえ」を  
立ち上げた経緯を  
教えてください

茅広江地区においても高齢化が課題となっています。農業などの地域産業を支えている高齢者の体力の低下とともに、畑や庭の管理が難しい方も徐々に増加しております。近所同士で自然に助け合っている環境も残ってはいませんが、身体的・精神的にどんなフォローが必要なのかを考えるようになりました。

令和2年に高齢者に実施した生活支援についてのアンケートで、自然な



どのような活動を  
されていますか？

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で生活に手助けが必要な地域住民の草刈りやゴミ出しなどの困りごとを支援しています。特にこの地域は草木の管理がとても重要で、草刈りの依頼がほとんどです。住民には地域の景観を守る習慣が根付いており、誰かの土地であってもできる人たちが守ろうと自発的に取り組んでくれています。

今後の活動の目標を  
教えてください

実は担い手である協力会員も、高齢の方が多いため、若い人たちへどのように活動をつなげていくかが目下の課題です。活動時に着用するユニフォームも準備したので、様々な世代の方の目に触れて応援してくれる方が増えるとうれしいです。私たちより前の世代では組織など必要はありませんでしたが、「個」が大事にされる時代となり、地域の繋がりが変化しています。だからこそ、今は組織化する意味があると感じています。

元気な心と  
体でいきいきと  
生活し、もし手  
助けが必要に  
なったときはフ  
ォローできる地  
域を目指してい  
きます。



【問】 高齢者支援課 ☎53-4099

